

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
I 「稼げるまち」の実現																		
再生可能エネルギーや水素拠点化を通じた市内企業の成長と産業集積	1	水素拠点化推進事業	産学官の協議会において響灘臨海部を中心とした水素拠点形成を推進し、地元企業の脱炭素化と国際競争力の強化、新たな産業集積につなげるとともに、市内外へ水素拠点化の取組を発信する。	●	●	グリーン成長推進課	水素拠点の形成(1拠点)	0拠点	R5	国支援制度への申請1件	国支援制度への採択1件						51,000	21,000
	2	水素ローカルサプライチェーン構築事業	市内で早期に取り組むローカルサプライチェーンの構築及び企業の水素ステーション整備に向けた取組を支援し、地元企業の脱炭素化やモビリティ分野における水素利活用を促す。		●	グリーン成長推進課	水素ローカルサプライチェーンの構築件数(累計4件)	0件	R6		2件							5,000
	3	市内事業者等への再生エネ100%北九州モデル普及推進事業	令和5年4月に採択された国の再生エネ交付金を活用し、市内事業者等が第三者所有方式による太陽光発電設備、高効率空調設備の導入を行う場合の費用の一部を補助する事業を実施し、地域のCO2排出量の削減につなげる。	●	●	再生可能エネルギー導入推進課	再生可能エネルギー導入量の増加(事務事業番号3~5の合同評価)	436,000kw	R2	469,391kw	695,421kw						82,700	76,300
	4	脱炭素社会の実現に向けた再生エネ100%北九州モデル推進事業	令和4年4月に国から選定された脱炭素先行地域の取組として、第三者所有方式による太陽光発電設備、高効率空調設備を公共施設等に導入し、地域の脱炭素化を行う。 また、脱炭素先行地域の共同提案者である北九州連携中枢都市圏の自治体の脱炭素に向けた側面的支援を行う。	●	●	再生可能エネルギー導入推進課	再生可能エネルギー導入量の増加(事務事業番号3~5との合同評価)	436,000kw	R2	469,391kw	695,421kw						615,558	721,822
	5	北九州市風力発電人材育成事業	風力発電関連産業の総合拠点として、その機能を十分に発揮するには、人材の「育成」と「確保」が必要である。 このため、「北九州市洋上風力キャンプ」を実施し、市内外の学生等の関心を高め育成を図るとともに、「北九州市風力発電人材育成連絡会」を通じた産学官の連携による人材の育成・確保に引き続き積極的に取り組む。	●	●	環境学習課	再生可能エネルギー導入量の増加(事務事業番号3~5との合同評価)	436,000kw	R2	469,391kw	695,421kw						19,350	19,350
北九州エコタウンを中心としたサーキュラーエコノミーの推進による企業の競争力強化と新たな環境産業の集積	6	エコタウンセンター再整備構想策定事業	北九州市のサステナブル(カーボンニュートラル、循環経済、自然再興)の国内外に向けたPR拠点とするため、エコタウンセンター・響灘ピオトープなど既存環境学習施設の展示内容、展示方法などの見直しを含めた構想を策定する。		●	サーキュラーエコノミー推進課	サーキュラーエコノミー関連市内投資額(事務事業番号6~8との合同評価)	10億円/年	R4		30億円/年(R12年度までに)							10,000
	7	環境未来ビジネス創出助成事業	新規性、独自性に優れた環境技術の研究開発費等への一部助成により、市内中小企業等に技術開発の機会を提供し、事業化を支援する。	●	●	サーキュラーエコノミー推進課	サーキュラーエコノミー関連市内投資額(事務事業番号6~8との合同評価)	10億円/年	R4	30億円/年(R12年度までに)	30億円/年(R12年度までに)						48,000	48,000
	8	サーキュラーエコノミー基盤形成促進事業	本事業は、世界から注目されているエコタウン事業を世界経済の潮流であるサーキュラーエコノミー(循環経済)に対応させ、新たな付加価値や雇用を創出していくために、市内企業や大学等が取り組むサーキュラーエコノミーの取組を支援する。	●	●	サーキュラーエコノミー推進課	サーキュラーエコノミー関連市内投資額(事務事業番号6~8との合同評価)	10億円/年	R4	30億円/年(R12年度までに)	30億円/年(R12年度までに)						6,500	8,000
	9	サーキュラーエコノミー基盤構築事業	産業廃棄物の埋立量削減や排出抑制を目指すとともに、サーキュラーエコノミーへの移行に向けた基盤を構築するため、再生利用に資する処理施設の導入に加え、産業廃棄物の脱炭素化の取組等、動静脈企業の連携を支援する。	●	●	産業廃棄物対策課	産業廃棄物の最終処分量の削減	203,000t	H30	185,000t(R7年度までに)	185,000t(R7年度までに)						24,000	26,004
アジア・グリーン共創ハブの推進	10	アジア・グリーン共創ハブ推進事業	環境国際協力や環境国際ビジネスの結節点となる「アジア・グリーン共創ハブ」を目指すため、国内外の環境関連企業や国際機関等とビジネス面で接点を強化し、企業の技術・製品・サービスの輸出に加え、対日投資を含めた取組を展開する。	●	●	環境国際戦略課	環境国際ビジネス参入企業数及び案件額(H22年度からの累計)	30社 約100億円	R4	50社程度 約500億円(R12年度までに)	50社程度 約500億円(R12年度までに)						32,584	31,100

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
II 「彩りあるまち」の実現																		
ネイチャーポジティブの推進	11	生物多様性戦略推進事業	第2次北九州市生物多様性戦略(平成27年度-令和6年度)の基本理念である「都市と自然との共生 ～豊かな自然の恵みを活用し、自然と共生するまち～」の実現に向け、5つの基本目標を設定し、様々な施策に取り組む。 また、世界的な目標であるネイチャーポジティブの実現に向け、令和6年度に期間終了となる現行戦略の改定を進めるとともに、北九州市の豊かな自然「アーバンネイチャー」を広く発信し、市の魅力向上につなげる。	●	●	再生可能エネルギー導入推進課	生物多様性に関する市民の認知度(R12年度目標:60%)	28.8%	R5	—	35.0%					17,575	20,575	
III 「安らぐまち」の実現																		
持続可能な循環型社会の構築	12	エコ・アップデート推進事業	第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画に掲げるリサイクル率の目標達成に向けて、市民に分別が十分に浸透していない廃食用油、プラスチックごみなどについて、回収拠点の増加や市民向けのPRなど、集中的にリサイクル策を強化する。	●	●	循環社会推進課	市民1人一日あたりの家庭ごみ量	468g	R1	440g以下(R7年度までに)	440g以下(R7年度までに)	一般廃棄物のリサイクル率の増加	28.0%	R1	30.0%(R7年度までに)	30.0%(R7年度までに)	20,035	15,000
	13	事業系ごみ対策強化事業	令和6年度に実施した事業系ごみの組成調査結果をもとに、業種に応じた啓発物を作成するなど、効果的なごみ削減・リサイクルの誘導を図るとともに、後を絶たない焼却工場への不適物の搬入や無許可疑いの業者による搬入などへの検査体制の強化を行う。	●	●	循環社会推進課	事業系ごみ量(市の施設で処理した量)の減少	162,292t	R4	基準値から20.0%減(R12年度までに)	基準値から20.0%減(R12年度までに)	一般廃棄物のリサイクル率の増加	28.0%	R1	30.0%(R7年度までに)	30.0%(R7年度までに)	9,230	12,230

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。